



ポストデジタル、ポストコロナ時代における企業の取組とブロックチェーン

ポスト・デジタル時代を生きる

～ #TechVision2020より ～

Digital is Everywhere

> 50%

インターネットにアクセスしている人の割合 (#1)

6.4 hours

オンラインで過ごしている平均時間(1日当り) (#2)

52%

テクノロジーが日々の生活において重要と回答した生活者の割合 (#3)

あらゆる企業が「テクノロジー企業」へ

出典: #1 Internet World Stats: Usage and Population Statistics. (n.d.).

#2 Salim, S. (2019, February 4). More Than Six Hours of Our Day Is Spent Online.

Digital Information World

#3 Technology Vision 2020 research (調査対象は中国、インド、英国、米国の生活者2,000人)

ポストデジタル時代に取り組むべき 5つのトレンド

#TechVision2018

インテリジェント・エンタープライズの勃興：
自社を「再定義」する

AIを市民に

拡張現実

データの信憑性

摩擦ゼロビジネス

インターネット・シンキング

#TechVision2019

ポストデジタル時代の到来：次への備えはできているか？

“DARQ” の力

「私」を理解せよ

「ヒューマン+」
としての労働者

自身を守るために
全体を守る

マイマーケット

#TechVision2020

テクノロジー企業 / テクノロジーCEOになる準備はできていますか？

体験の中の「私」

AIと私

スマート・シングスの
ジレンマ

解き放たれる
ロボット

イノベーションの
DNA

一人ひとりに合わせて選択肢を提供する

人間とAIの協働を通じてビジネスのあり方を再創造する

ベータ版に伴う足かせを取り除く

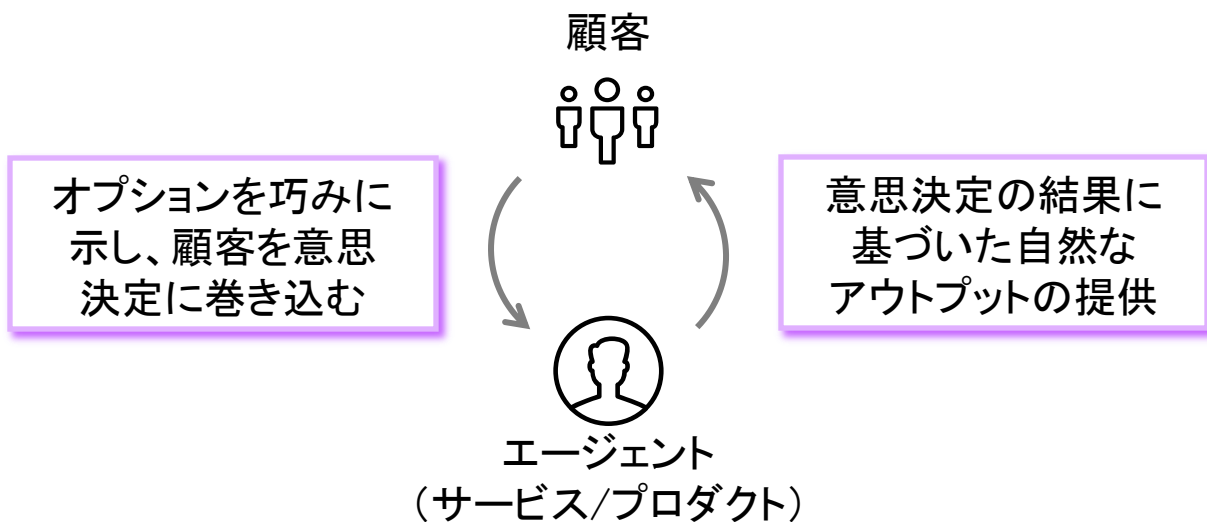
企業の対応範囲と責任を広げる

継続的なイノベーションのエンジンを生み出す

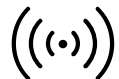
体験の中の「私」

提供から共創へ

顧客を“能動的参加者”へと変えるアドベンチャーをサービスへ組み込む



XR



5G



Cloud



AI

...

複線化・没入感を支える拡張性のあるテクノロジー

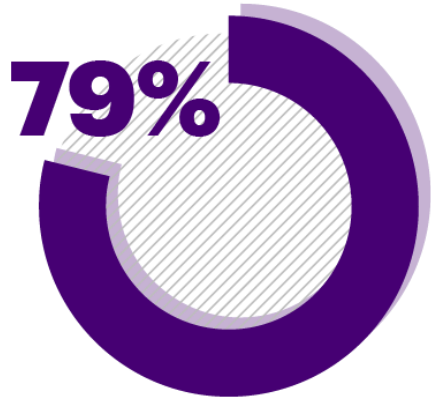
N社: 視聴者と創り上げる マルチエンディングドラマ

- 視聴者に主人公の行動を選択させることで、ストーリーを複数分岐し、選択肢に応じたエンディングを提供
- ゲームプログラミング言語「Twine」を制作に活用

F社: メニューパーソナライ ゼーションエンジン

- 好みや主義、アレルギーを選択していくことで、AIが作成したオーダーメイドメニューを選択可能

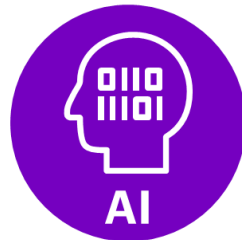
AIと私



人間とマシンの協働が将来のイノベーションに必要不可欠であると確信している経営幹部の割合



相互作用を生み出す協働を前提としたAIありきの仕組み作りを準備している企業



V社: AIと人間のコラボレーションにより革新的デザインを創出

- ジェネレーティブデザイン*による人間とAIの反復的なコラボレーション
- AIのアイデアを人間が改良し、より軽量で環境にやさしい自動車のホイールを数カ月で開発・製造（従来は1.5年）

B社: AIの意思決定を人間の監視下に置き、説明可能性を担保する方針を明示

- 2025年までに全製品にAIを搭載予定
- AIを用いた意思決定は、常に人間の監視下で実施することを原則化
- 原則に従い、説明可能なAIの開発方針を明示

スマート・シングスのジレンマ

スマート・プロダクト

- インターネットへの接続
- アップデートによる機能の改善・追加
- ユーザーの変化への柔軟な適応

ビジネスへの負荷増大

- 製品を“β版”でリリースし続けるジレンマ
- ユーザーの期待に応え続けることは、ビジネスの足かせにもなりうる(品質、性能、・・・)

I社: 成長するロボット掃除機をサブスクリプション化

- 掃除品質への懸念と初期導入費用の高さを克服
- 自宅のマッピングデータがクラウドで共有され、最新機種に移行しても掃除の品質を担保

A社: USBプラグインのAPI公開

- 自社製品のUSBプラグインのAPIを公開
- プラグインの充実と共に同商品が新たなサービスを提供可能

製品体験を軸にした、顧客と企業の信頼関係を

解き放たれるロボット/イノベーションのDNA

ロボットはさまざまな場所に 解き放たれつつある

A社:ドローンが血液検体を空輸

- 地上交通が未発達地域で医療サービスの品質向上に貢献

B社:設備保全業務へのロボット導入 の実証実験

- 重要設備の巡視業務において、安全点検の業務を代行

C社:介護ロボットの国内実証実験

- 見守り、運搬、緊急対応などで省人化・省力化を目指す

イノベーションのDNA

サイエンスとテクノロジーを企業のDNAに組み込み「イノベーションのDNA」とするのは誰か？

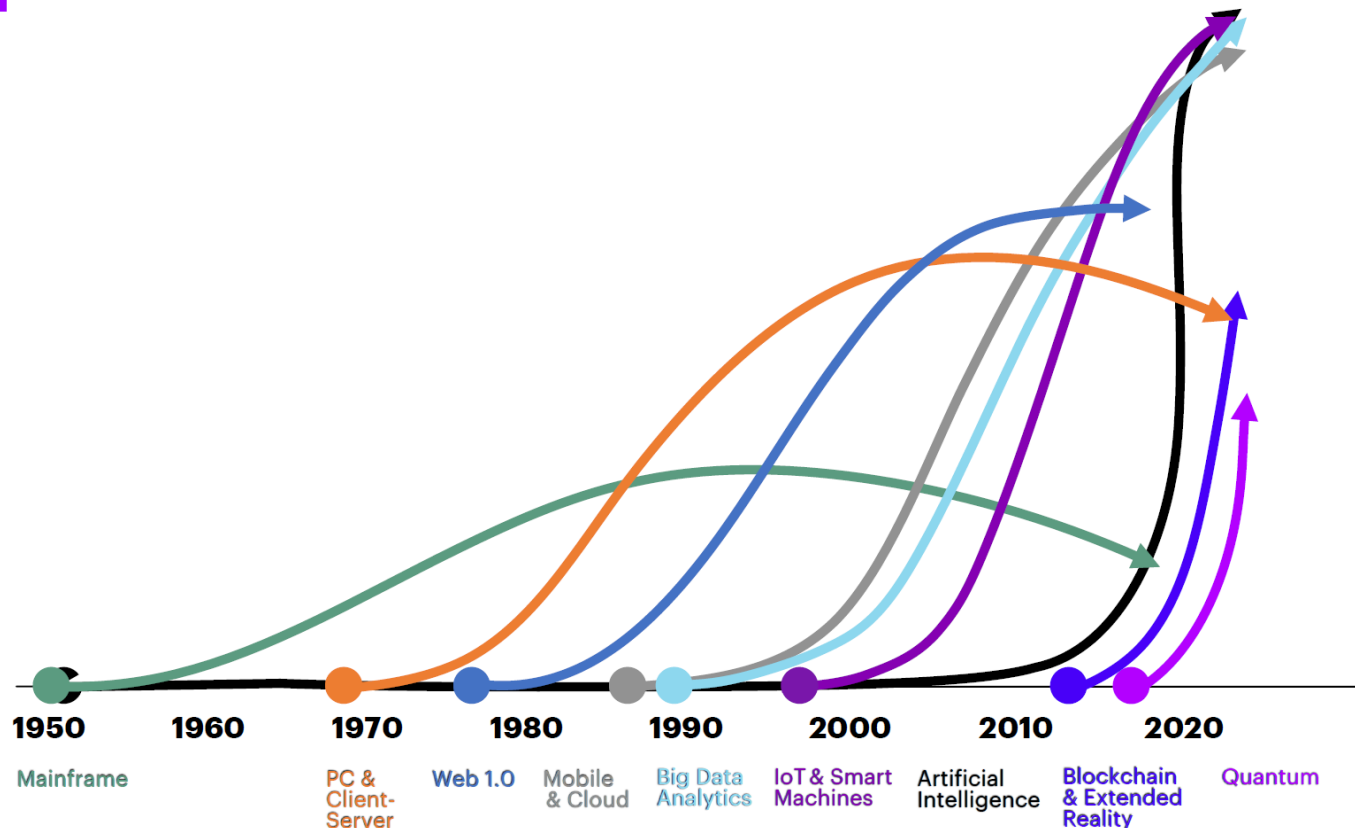
テクノロジーCEO

テクノロジーを企業の核に融合させて考える、「テクノロジー思考」を持つCEO

“先端技術に詳しい”CEOではない

ポスト・デジタル時代におけるブロックチェーン

EXPONENTIAL TECHNOLOGIES



出典：公知情報をもとにアクセンチュア作成

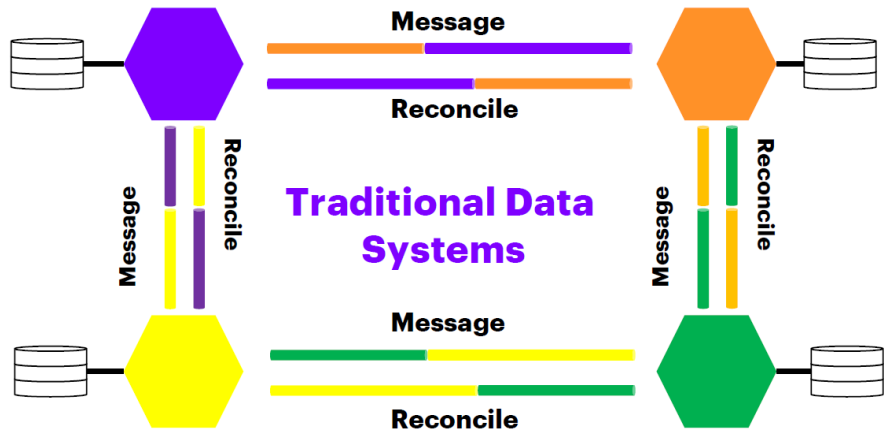
**BLOCKCHAIN.
NOT HYPE.
NEW.APPLIED NOW.**

**THE MOVE TO
MULTIPARTY SYSTEMS**

従来の分散台帳やスマートコントラクト、AI・IoTとの連携に加えて、分散型データベース&メッセージングシステム、台帳サービス、秘匿化技術等の拡張技術により、マルチパーティ・システムへ発展

エンタープライズ領域でのブロックチェーンの活用

従来型データシステム



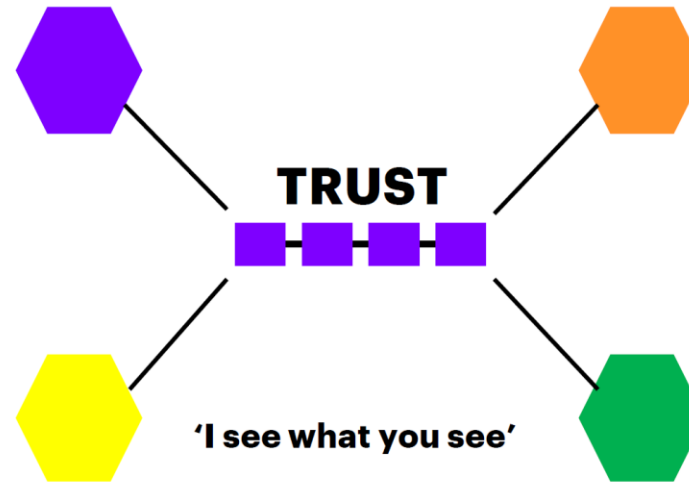
重複データ

コピー&ペースト

脆弱な統制

境界ベースのセキュリティ

ブロックチェーンベースのデータシステム



シェアード・ステート

唯一性

オーナーシップ

目的

特性を活かした活用
用例が増加

- アイデンティティ
- フリクションレスな価値交換
- サプライチェーン
- トレーサビリティ

ブロックチェーンの活用事例

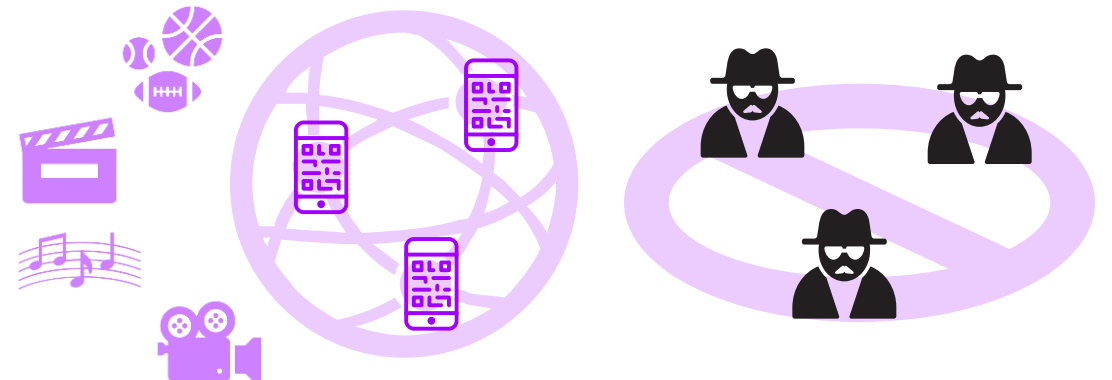
ID2020 (デジタルID)

- 全世界で11億人が国民IDを保有しておらず、様々なサービスにアクセスできない
- ブロックチェーンを活用したデジタルIDシステムを構築し、セキュアな環境でのデジタルIDを保有できる仕組みを構築



スマートチケット

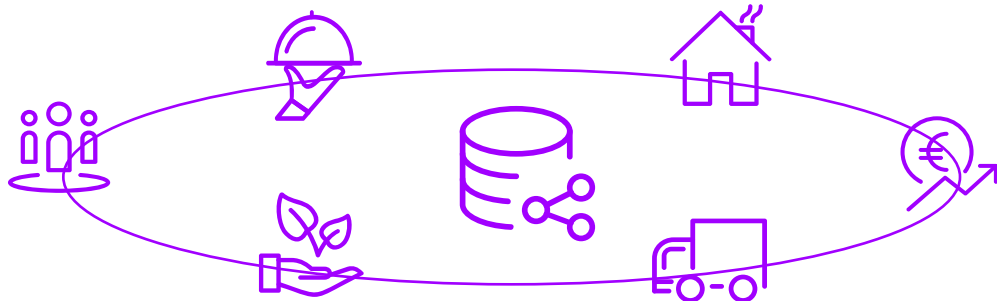
- コンサートや観劇、スポーツイベントなどのチケットをブロックチェーン上で発行
- モバイル上のアプリでチケットを提示して入場が可能
- 偽造チケットによる先の防止や高値での転売に制限をかける等が可能
- リセール市場やオンラインでの座席予約などの付加価値提供を検討している事業者も



ブロックチェーンの活用事例

食料品のトレーサビリティ

- 食料品の安全性を証明するためにブロックチェーン上に原産地から輸送、販売までの一連のモノの動きをトレース可能に
- End-to-endでサプライチェーンを可視化することで食料の廃棄などを削減する
- ESGの観点では、原産地の個別の農家までを特定することでフェアトレードを保証したサプライチェーンを構築



P2P電力売買プラットフォーム

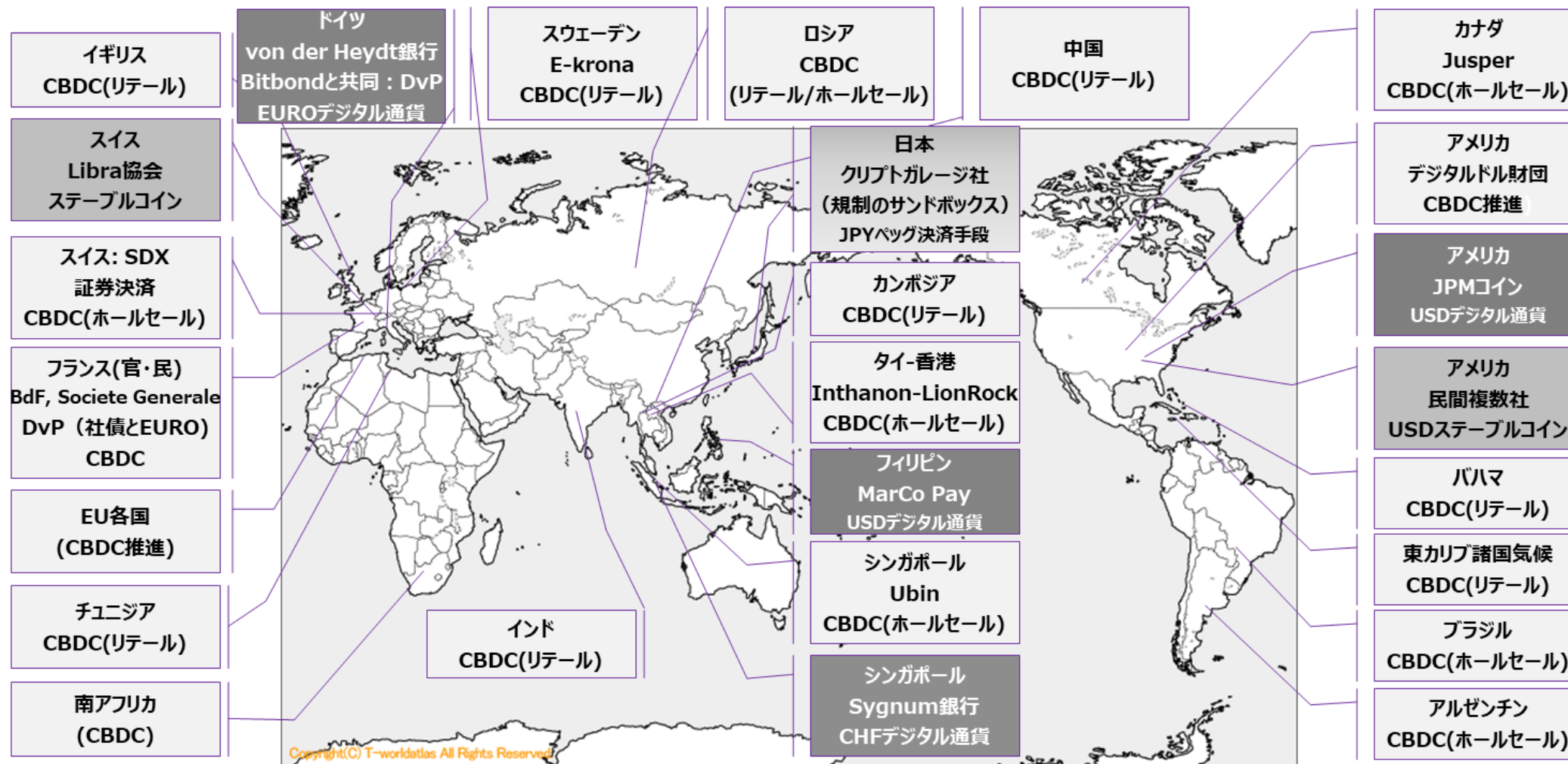
- P2Pの取引プラットフォーム上で再生可能エネルギーの生産者、および消費者が相互に直接取引を実現
- 消費者は余剰生産のある生産者から従来システム比安価で購入可能
- 生産者は安定した収益を得る事で電力コストを削減
- ブロックチェーンとIoTを活用し、大量の取引を即時かつ同時の決済を実現



ブロックチェーン活用の広がり

～デジタル通貨の例～

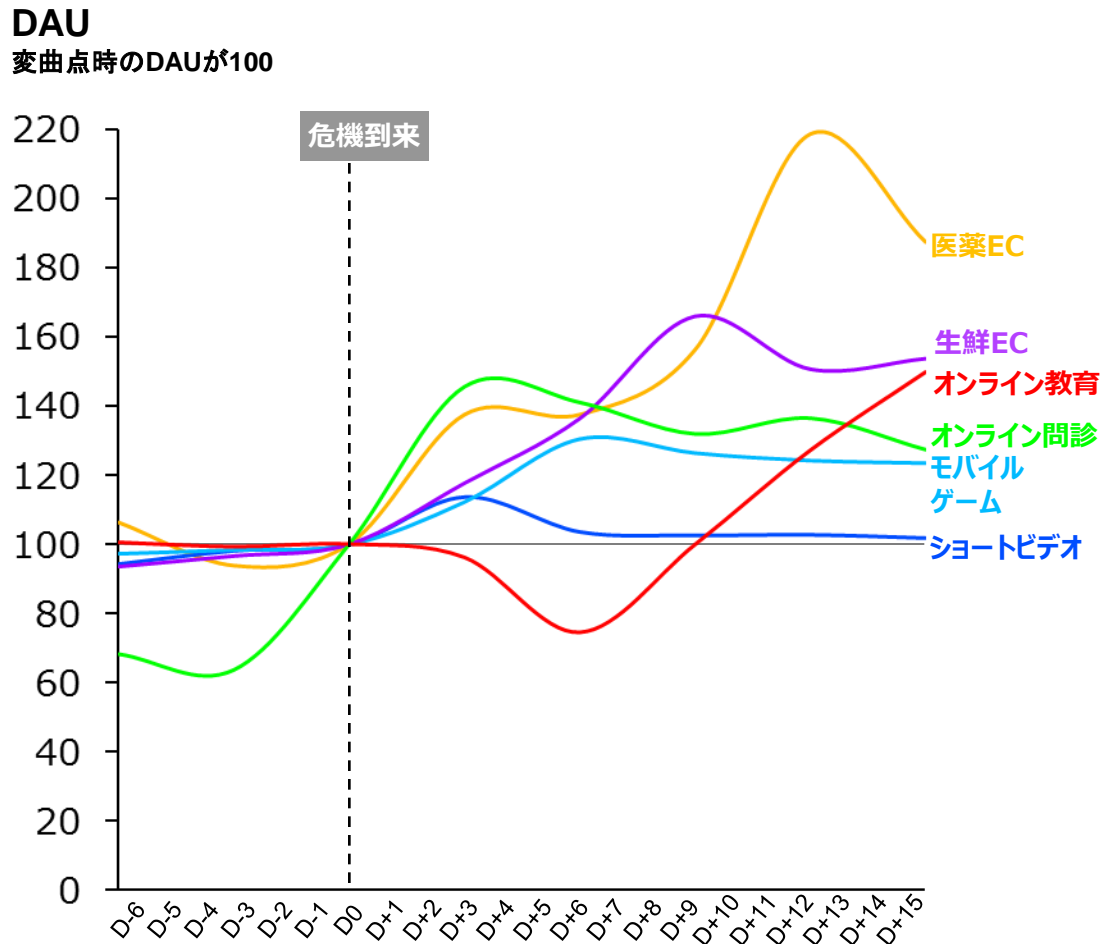
海外におけるデジタルマネーをめぐる動き



ArcGIS Proの白地世界地図上にアクセントチャートにてプロット

COVID-19の影響

～ユーザー規模からみる“勝ち組”企業（DAU推移）



出典：公知情報をもとにアクセンチュア作成

*D0=2020.01.20

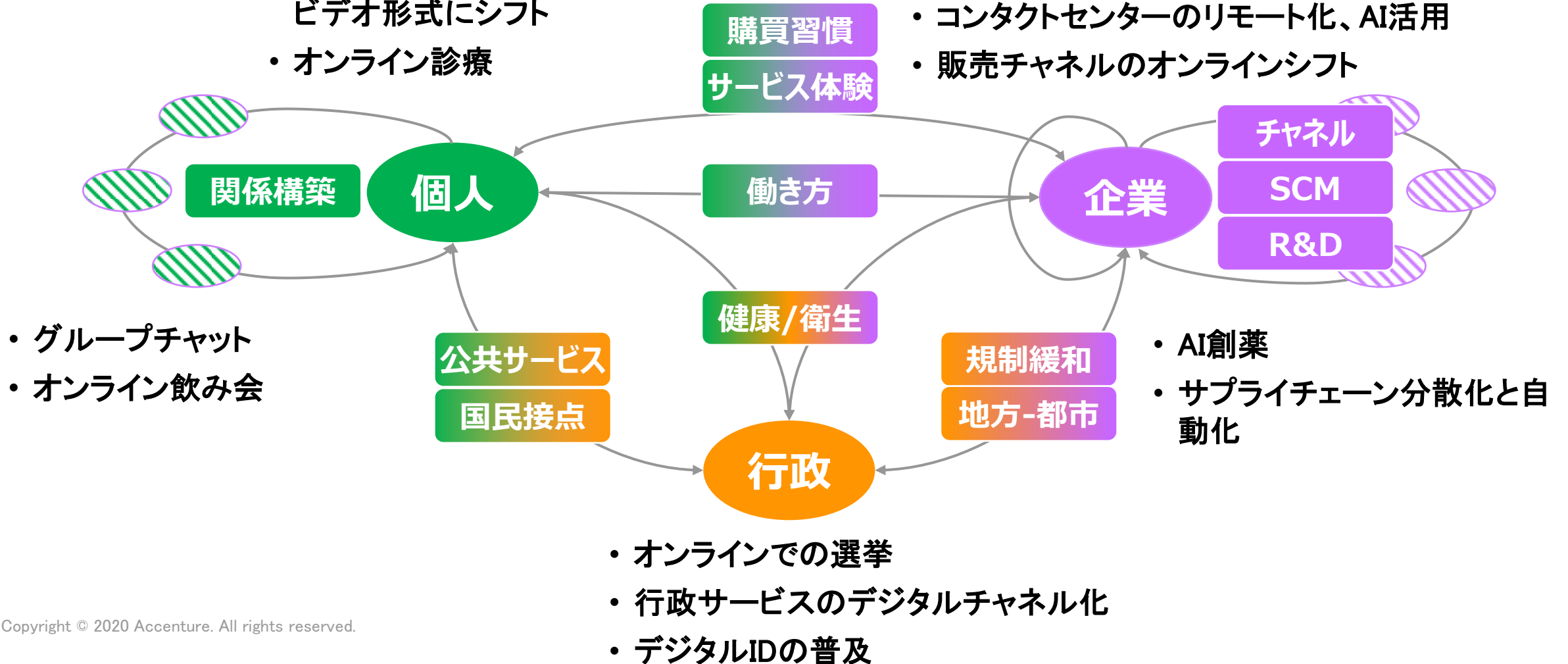
		事業者	ユーザー規模	
EC	医薬品EC	叮当快药	DAU16万人	952%増
	生鮮食品EC	叮咚买菜	DAU147万人	274%増
	耐久消費財	恒大集团 EVERGRANDE GROUP	売上 6,796億円/月	108%増
エンタメ	モバイルゲーム	王者荣耀	DAU 9,535万人 月間売上 53億元	30%増
	ストリーミング配信	TikTok	DAU 31,767万人	38%増
サービス	オンライン診療	丁香医生	DAU 30万人	222%増
	オンライン教育	作业帮 让学习更简单	DAU 1,218万人	77%増
	企業向け	钉钉	MAU 2億人	100%増

This presentation makes reference to marks owned by third parties. Unless otherwise noted, all such third-party marks are the property of their respective owners. No sponsorship, endorsement or approval of this content by the owners of such marks is intended, expressed or implied.

COVID-19で顕在化する変化

- リモートでのコンサート
- 対面式の料理教室⇒ストリーミングやビデオ形式にシフト
- オンライン診療

- 在宅勤務の常態化
- リモート営業・会議
- コンタクトセンターのリモート化、AI活用
- 販売チャネルのオンラインシフト



ポストC19とブロックチェーン

～まとめとして～

COVID-19で起きる変化

- オンラインサービス化
- リモートワーク・リモート営業が加速
- 行政サービスもオンラインへ
- サプライチェーンの見直し(分散化)と自動化の進展
- データ共有の加速(創薬、医療、ID関連)
- ロボット・AI活用の進展

変化への備え

- デジタルIDの普及
- 詐欺・盗難の未然防止
- データの信頼性
- データの適切な保護と共有
- グローバルな情報の共有と協働
- ロボット・AI・IoTの総合運用性
- サイバーセキュリティ

ブロックチェーンの特徴である信頼性の高いデータシステムの必要性

ブロックチェーンと他のテクノロジーを組み合わせた総合的なシステムの導入が進んでいくと思われる(beyond Blockchain)

ご清聴ありがとうございました

相原 寛史
(Aihara Hirofumi)
アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部
マネジング・ディレクター

ご不明な点がございましたら、
お気軽にお問い合わせ下さい。

Info.Tokyo@accenture.com

#TechVision2020

<https://www.accenture.com/jp->

[ja/insights/technology/technology-trends-2020](https://www.accenture.com/ja/insights/technology/technology-trends-2020)

この資料は、表題の内容につき、国内、及び、諸外国マーケットにあって一般的に行われているビジネス情報をご提供する目的で作成されたものです。資料中の内容、及び、各数字はプレゼンター、または、アクセンチュア株式会社が入手した情報に基づき作成したものであり、作成には細心の注意を払っておりますが、あくまで仮定に基づく推定・見込みを含み、実際の数字と異なる場合がございます。プレゼンター・アクセンチュア株式会社はその正確性について一切の保証を与えるものではなく、また、この資料の内容を日本国内において適用される場合には、日本の法律、会計制度、税制、及び、商習慣に基づき、その適法性・適合性を当プレゼンテーション参加者ご自身でご判断いただくこととなります。尚、この資料の著作権はすべてプレゼンター・アクセンチュア株式会社に帰属し、資料、及び、一部内容をプレゼンター・当社の許可無く複製し、また、他の目的・著作物等に無断転用することを厳に禁じます。

This presentation makes reference to marks owned by third parties. Unless otherwise noted, all such third-party marks are the property of their respective owners. No sponsorship, endorsement or approval of this content by the owners of such marks is intended, expressed or implied.